



入場無料

BY展

期間：平成22年7月13～30日

11:00～18:00

但し、24～26日は休みとなります。

場所：川の駅 はちけんや



水でつなぐ



「人・自然・文化」



琵琶湖・淀川流域圏



主催：琵琶湖・淀川流域圏再生推進協議会

近畿地方整備局、近畿運輸局、近畿農政局、近畿中国森林管理局、近畿経済産業局、近畿地方環境事務所、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、京都市、大阪市、大津市、内閣官房地域活性化統合事務局(オザバー)

「琵琶湖・淀川流域圏の再生」ホームページアドレス

<http://www.kkr.mlit.go.jp/plan/biwayodosaisei/index.html>

琵琶湖・淀川流域圏再生推進協議会とは？

琵琶湖・淀川流域圏は、古くから水と人とのかかわりの中で、わが国随一の歴史・文化を有し、都市と豊かな自然環境が共生し繁栄してきた個性のある地域です。

平成15年3月に、京都・滋賀・大阪にて第3回世界水フォーラムが開催されたことを契機に、当時都市再生本部（現在：地域活性化統合事務局）において平成15年11月に第6次都市再生プロジェクトとして「琵琶湖・淀川流域圏の再生」が決定され、平成17年3月に関係する国の機関や府県・市で「琵琶湖・淀川流域圏の再生計画」を策定しました。

平成17年4月には「琵琶湖・淀川流域圏再生推進協議会」を設置し、流域圏再生に向けた取り組みを関係機関が流域圏のあらゆる関係機関と流域圏の個々の活動を繋いだ「琵琶湖・淀川流域圏連携交流会（BY-net）」と連携して具体的に進めているところです。



「琵琶湖・淀川流域圏の再生計画」
(平成17年3月策定)

琵琶湖・淀川流域圏再生推進協議会の取り組み内容とは？

「琵琶湖・淀川流域圏の再生に向け、5つの連携テーマを設定して取り組んでいます。

みずべpromナードネットワーク

琵琶湖・淀川流域圏の水辺を、舟運・サイクリング・ウォーキング等でゆったりと味わい・楽しみ・学びながら、周遊できる水辺のネットワークを構築する。

水辺の賑わい創出

琵琶湖・淀川流域圏において、まちに潤いをもたらす「せせらぎの創出」、「水辺にふれあい、楽しむことができる「親水空間の再生・創出」を図り、人々が集い、活気に満ちた水辺を創出する。

水辺の生態系保全再生・ネットワーク

淡水生物の宝庫である琵琶湖・淀川流域圏の多様な生態系を保全再生するため、希少種等の在来種の保全を視野に入れ、それらを取り巻く生物の生息・生育環境を保全再生する。

流域水環境再生

琵琶湖・淀川流域圏の水環境に関する様々な課題に対して、森林地域や農村地域だけでなく、流域の恵みを楽しむ都市部が一体となり、豊かな水を育む森林・農用地の保全及び再生や、河川や湖沼のさらなる水質改善、安定した水量の確保を図り、健全な水環境を実現する。

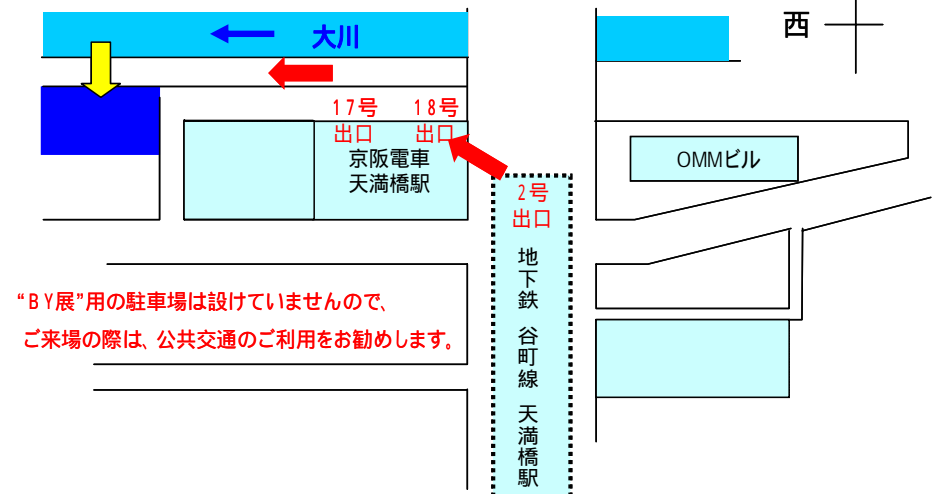
流域連携

琵琶湖・淀川流域圏の各種課題に対し、地域間・主体間・分野間で連携した一体的な取り組みを継続性のあるものとするため、行政間の連携を推進する組織、市民・NPO・自治体等のネットワークを構築する。

会場へのアクセス



川の駅
「はちけんや」



“BY展”用の駐車場は設けていませんので、
ご来場の際は、公共交通のご利用をお勧めします。

- 【京阪電車をご利用の場合】 京阪電車「天満橋駅」下車。改札を出て17号、18号出口より大川沿い遊歩道を西に歩いてすぐ。
- 【地下鉄をご利用の場合】 地下鉄谷町線「天満橋駅」下車。改札を出て2号出口より京阪電車方面に向かい17号、18号出口より大川沿い遊歩道を西に歩いてすぐ。